



アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ

No. 53 / 2011年3月

「アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ」第53号をお届けします。今回は、アンテナ・伝播における設計・解析手法ワークショップ再開第13回、第42回のお知らせです。

【1】アンテナ・伝播における設計・解析手法ワークショップ(再開第13回)

アンテナ・伝播研究専門委員会では、関連する研究専門委員会と連携して、1994年度から第二種研究会として標記のワークショップを開催してきました。これまでに41回のワークショップを実施し好評を頂いていますが、再開のご要望にお応えするために、今回は再開第13回として、アンテナ・伝播研究者や技術者を主たる対象に、「アンテナ基本測定技術」を開催します。本講義は、主に小形アンテナの開発者を対象とし、基礎的な測定技術と各種応用測定の手法、さらに測定の実例の習得を目的とします。奮ってご参加下さい。

記

◆アンテナ基本測定技術

◆講師：石井 望 (新潟大)

◆日時：2011年5月25日(水) 9:30~17:00(予定)

◆会場：東京工業大学大岡山キャンパス 西9号館デジタル多目的ホール

◆受講定員：120名

◆テキスト

「アンテナ基本測定法」(コロナ社, ISBN:978-4-339-00822-7)を使用します。なお、テキストは、当日、会場で配布いたします。既にテキストをお持ちの方は【テキスト無し】でお申し込みください。

◆受講申込：3月22日(火)~4月25日(月)(予定)、(先着順;満員になり次第締め切ります)。

◆受講申込方法：IEEE AP-S Japan Chapter ホームページ掲載の受講申込書に記入の上、電子メールにて申し込んでください(郵送、電話申込不可)。

(http://ewh.ieee.org/r10/tokyo/aps/jp/ws13/application_form.txt)

◆問合せ

IEEE AP-S Japan Chapter ワークショップ実行委員会 (委員長:長敬三(NTTドコモ))

幹事 山田 寛喜(新潟大) E-mail: yamada@ie.niigata-u.ac.jp (迷惑メール防止のため@を全角で表示しています。)

【2】アンテナ・伝播における設計・解析手法ワークショップ(第42回)開催案内

今回の第42回ワークショップでは、OFDM伝送と受信用アレー信号処理の基礎をテーマとします。本講義は、近年の無線通信の伝送方式として採用されているOFDMの基本原理と、OFDM伝送の特性改善に対して有効な技術であるアレー信号処理の基礎を習得することを目的とします。ご興味のある方の受講をお待ちしております。先着順のため、早めにお申し込みください。

記

◆OFDM伝送と受信用アレー信号処理の基礎

◆講師：藤元 美俊(福井大)

◆日時：2011年7月22日(金) 9:30~17:00

◆会場：東京工業大学大岡山キャンパス 西9号館デジタル多目的ホール

◆受講定員：100名

◆受講料：テキスト代金を含み

一般/会員 13,000円, 非会員 20,000円

学生/会員 3,000円, 非会員 7,000円

- ◆受講申込み期間：2011年4月1日(金)～2011年6月10日(金)
(先着順のため、満員になり次第締め切らせていただきます。)
- ◆受講申し込み方法：電子情報通信学会誌4月号の会告、またはアンテナ・伝播研究会 Web ページ <http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/> からワークショップのページをご覧ください。
- ◆問合せ先：アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップ第42回実行委員会
(委員長：菊間 信良(名工大))
総務担当幹事 西森 健太郎(新潟大) E-mail: nishimori@ie.niigata-u.ac.jp

【3】2011年1月のAP研究会

2011年1月のAP研究会は、1月20日、21日、佐賀大学本庄キャンパスで開催されました。

特別講演も含め、全部で30件の研究発表がありました。今回はURSI-Fとの共催であったせいか、伝搬関係の発表がいつもより多くありました。2011年度は、7月(信州大学)、1月(九州工業大学)がURSI-F共催月になっており、「伝搬特集」を企画しています。

IEEE AP-S Fukuoka Chapter (議長 内田一徳先生)主催の特別講演は、一電磁波理論に惹かれてーと題して、九州大学名誉教授 安元清俊先生から IEEE Fellow 就任記念講演としてお話がありました。安元先生は1981年から1987年までAP研究専門委員会委員を務め、2005年IEEE AP-S福岡チャプターの設立者です。これまでの研究成果である、電子ビーム・プラズマ系における波動の散乱と相互作用、誘電体導波路の数値解析、結合モード理論、フォトニック結晶の解析手法の資料を準備していただいたのですが、時間が少なく全てをお伺いできなかったのが残念でした。講演資料は全て英語でしたが、その理由は最初の英文投稿論文の査読結果に最もExcellentな英文の1つであると記載されていたためであること、また、1980年代から、中国、インド、韓国、ブルガリア、グルジア、ウクライナ、チェコなど、アジアや東ヨーロッパ諸国との国際交流を実践されているというのが印象的でした。



佐賀市での懇親会(29人参加)

【4】AP研副委員長の戯言

肥前国小城鍋島藩(現在の佐賀県小城市)は、書家中林梧竹(文政10年4月19日(1827年5月14日)–大正2年(1913年)8月4日)の出身地です。巖谷一六、日下部鳴鶴と並んで明治の三筆の一人だそうです(Wikipedia, 墨スペシャル19, 芸術新聞社, 1994年4月より)。佐賀市でこの中林梧竹氏のひ孫にあたる中林典子さんという方にお会いしました。右の年賀状の“大吉”という文字はこの方が書かれたもので、私には“口”の字がハートに見えて気に入っています。



〈問い合わせ先〉

アンテナ・伝播研究専門委員会副委員長 正源和義 (NHK)

E-mail : ap_ac-chair@mail.ieice.org (AP研執行部のメールアドレス)

AP-NET : AP研の最新情報を毎月メールにてお届けします!! 登録はAP研HPにて

AP研HP : <http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/>

ISAP Archives : <http://ap-s.ei.tuat.ac.jp/isapx/>

